
平成25年
福岡県経済データファイル

福岡県商工部

— CONTENTS —

第1章 福岡県の経済動向

1. 概況	2
＜企業部門＞	
2. 生産	5
3. 貿易	6
4. 設備投資	9
5. 工場立地	10
6. 創業率、廃業率	11
7. 企業倒産	12
8. 外資系企業の進出	12
9. 海外進出	13
＜家計部門＞	
10. 個人消費	14
11. 雇用	15
＜その他関係指標＞	
12. 住宅建設	15
13. 公共投資	16
14. 物価	16
15. 研究機関・教育	17

第2章 福岡県の商工業

1. 製造業	19
(1) 主要産業	19
(2) 地場産業	24
2. 商業	26
3. サービス業	27
4. 観光	29

付属資料

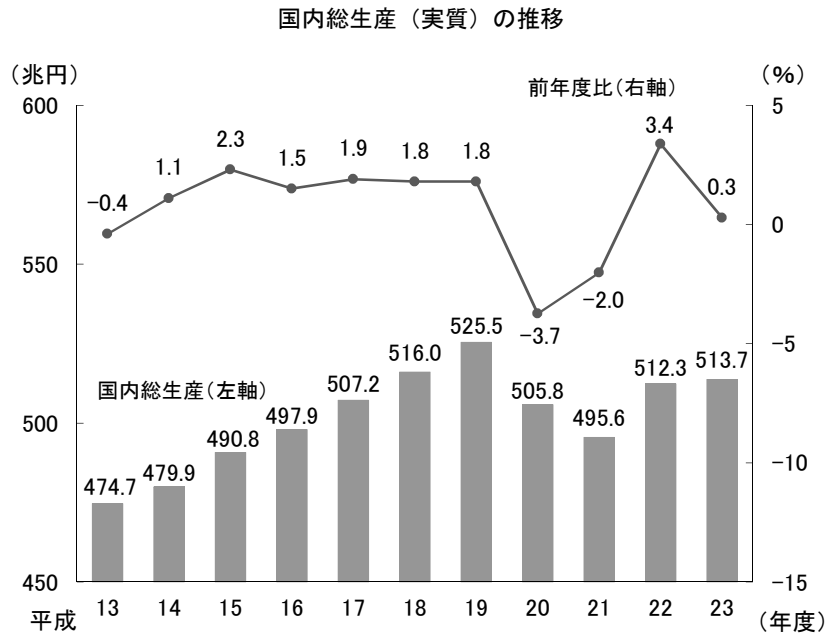
データ① 事業所数及び従業者数の推移（産業大分類別）（福岡県・全国）	31
データ② 工業における事業所数・従業者数・製造品出荷額等の推移（福岡県・全国）	32
データ③ 工業における事業所数・従業者数・製造品出荷額等の推移（産業中分類別）（福岡県・全国）	33
データ④ 商業における事業所数・従業者数・年間商品販売額の推移（卸売・小売別）（福岡県・全国）	35
データ⑤ 都道府県別企業数	36
データ⑥ 都道府県別常用雇用者・従業者数	37
データ⑦ 福岡県経済の推移	38
マップ① 主要工場	40
マップ② 主要自動車関連事業所	41
マップ③ 主要半導体関連事業所	42
マップ④ 主要食料品・たばこ関連事業所	43

第1章 福岡県の経済動向

1. 概況

平成 23 年度の国内総生産は2年連続のプラス成長

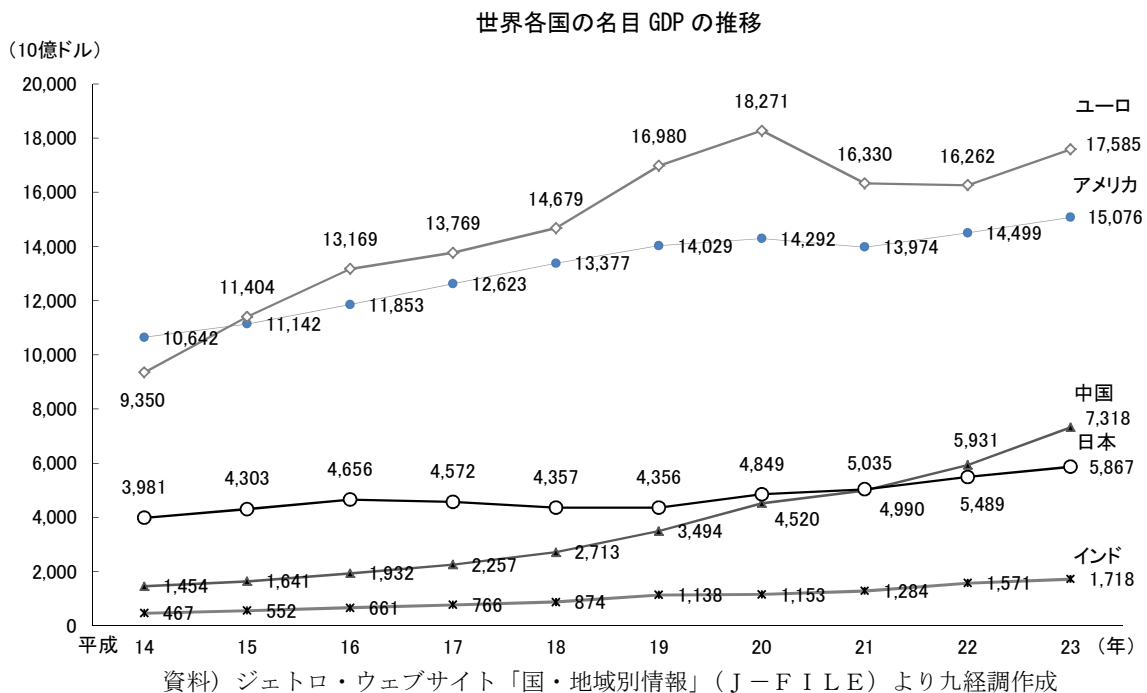
平成 23 年度の国内総生産（GDP、実質連鎖）は 513.7 兆円、前年度比（成長率）プラス 0.3%となり、2年連続でプラス成長となった。



注) 連鎖方式
資料) 内閣府「国民経済計算」

平成 23 年の国内総生産は世界各国で増加

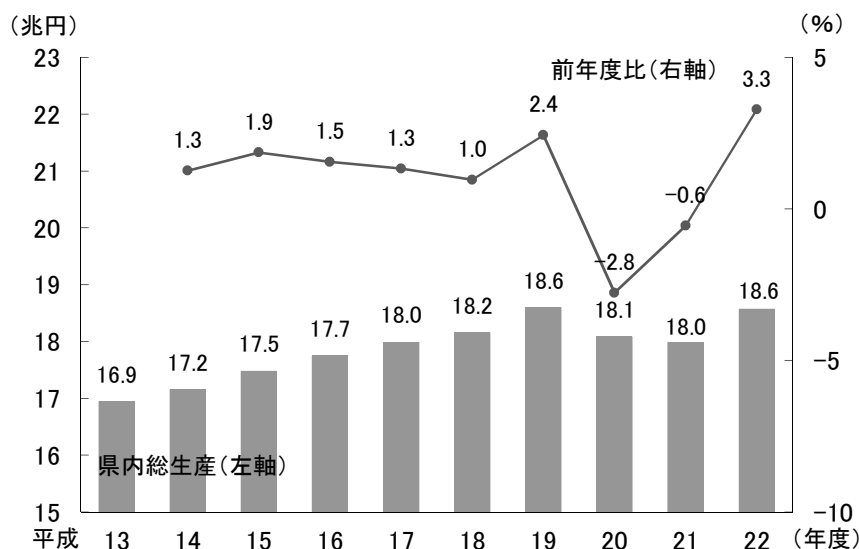
平成 23 年の世界各国の国内総生産（名目 GDP）は、ユーロ 17.6 兆ドル、アメリカ 15.1 兆ドル、中国 7.3 兆ドルに次ぎ、日本は 5.9 兆ドルとなった。



平成 22 年度の実質県内総生産は3年ぶりのプラス成長

平成 22 年度の実質県内総生産は 18 兆 5,722 億円、3.3%のプラス成長となった。

県内総生産（実質）の推移



注) 連鎖方式
資料) 福岡県「県民経済計算」

福岡県はアイルランド、フィリピンと同程度の経済規模

平成 22 年の福岡県の名目 GDP は 205,535 百万ドルとなり、アイルランドやフィリピンと同程度の経済規模を誇っている。

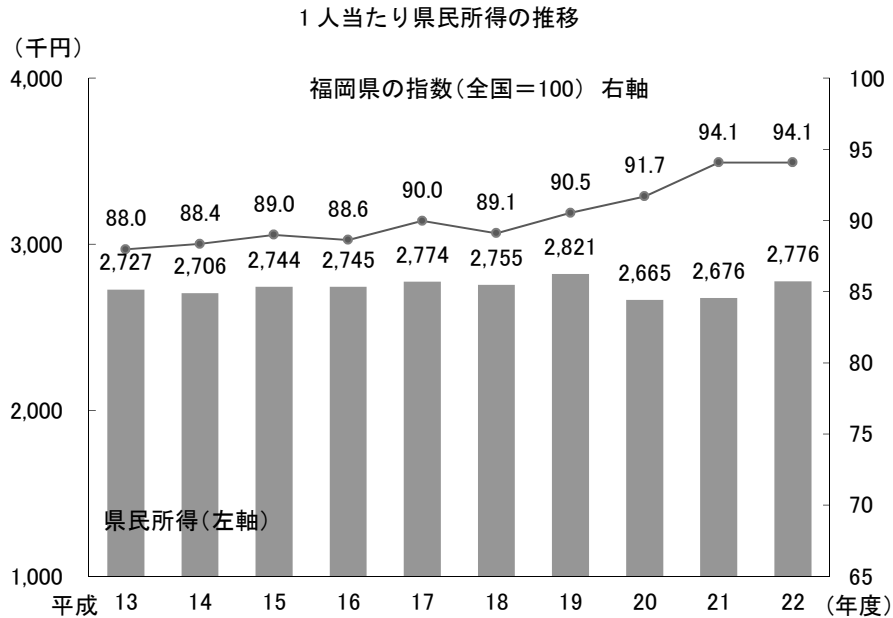
福岡県と世界の名目 GDP 推移と比較

	(百万ドル)	
	平成22年	対福岡県比 (福岡県=100)
ルーマニア	164,436	80.0
パキスタン	173,764	84.5
チェコ	198,947	96.8
フィリピン	199,591	97.1
福岡県	205,535	100.0
アイルランド	207,255	100.8
エジプト	214,623	104.4
チリ	216,309	105.2
イスラエル	217,445	105.8
香港	224,176	109.1
シンガポール	227,382	110.6
ポルトガル	228,688	111.3
ナイジェリア	229,508	111.7
フィンランド	236,802	115.2
マレーシア	246,823	120.1

資料) 総務省「世界の統計」、福岡県「県民経済計算」

県民所得は前年比で3.7%の増加

平成22年度の福岡県の1人あたり県民所得は277.6万円、前年度に比べ10.0万円増加し、2年連続でプラスとなった。



資料) 福岡県「県民経済計算」

産業別構成比では製造業比率が上昇

平成22年度県内総生産の産業別構成比は、第1次産業が0.8%、第2次産業が21.2%、第3次産業が77.5%となっている。

経済活動別県内総生産構成比(名目・%)の推移

	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
第1次産業	0.9	0.9	0.9	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.7	0.8
第2次産業	20.6	20.5	20.5	20.2	20.1	20.5	20.4	19.0	19.8	21.2
製造業	14.5	14.1	15.2	15.0	14.9	15.0	15.3	13.7	15.0	16.4
建設業	5.9	6.2	5.1	5.1	5.1	5.4	5.0	5.2	4.7	4.7
第3次産業	78.3	78.3	78.3	78.6	78.5	78.1	78.2	79.6	79.1	77.5
卸売・小売業	17.4	16.8	16.8	16.9	16.6	15.3	14.7	14.9	14.9	14.4
サービス業	23.0	23.2	23.3	23.7	21.1	21.3	21.9	22.9	22.7	22.3

注) 1. 名目値

2. 県内総生産は産業別県内総生産の小計から輸入品に課される税・関税が加えられ、総資本形成に係る消費税が控除されるため、構成比の合計は100にはならない

資料) 福岡県「福岡県民経済計算の概要」

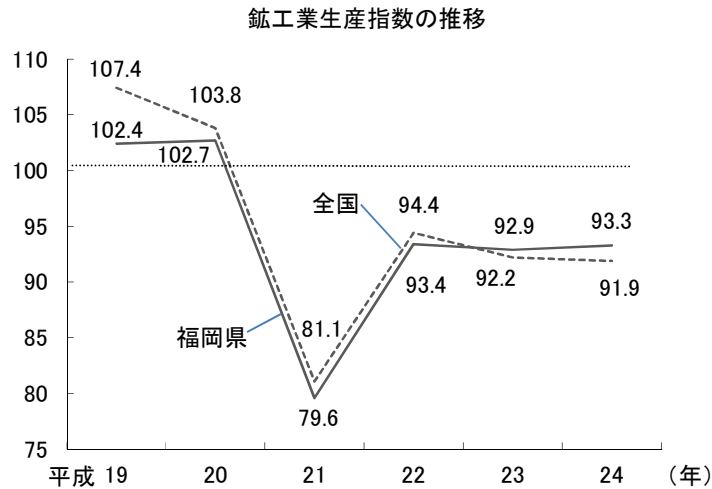
〈企業部門〉

2. 生産

(1) 全体

福岡県の鉱工業生産指数は全国を上回る

平成 24 年の福岡県の鉱工業生産指数（平成 17 年を 100）は 93.3 と全国（91.9）を上回った。



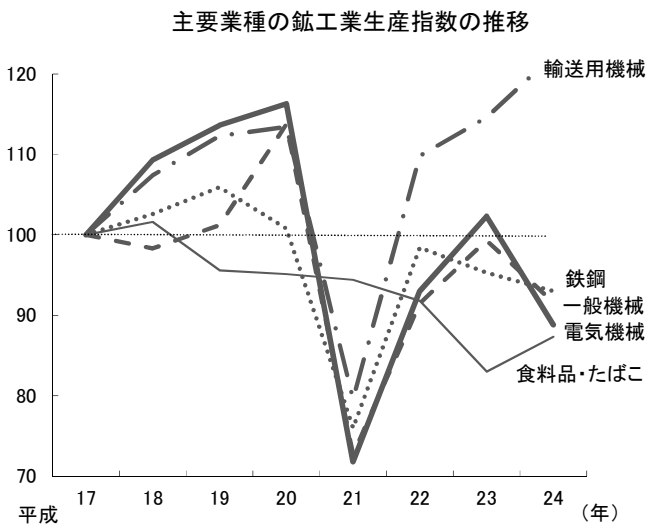
注) 平成 17 年を 100 とする

資料) 福岡県「福岡県鉱工業指数」、経済産業省「鉱工業指数」

(2) 主要部門

輸送用機械の生産指数が大きく上昇

平成 24 年の福岡県の鉱工業生産指数（平成 17 年を 100）を業種別にみると、輸送用機械（指数 122.3）が大きく上昇し、リーマンショック前の水準を上回った。



	20年	21年	22年	23年	24年
輸送用機械	113.4	79.6	109.8	114.6	122.3
鉄鋼	100.8	76.0	98.4	95.3	93.0
食料品・たばこ	95.1	94.4	91.8	83.0	87.3
一般機械	113.7	72.7	91.5	99.3	91.6
電気機械	116.3	71.8	93.0	102.3	88.8

注) 平成 17 年を 100 とする

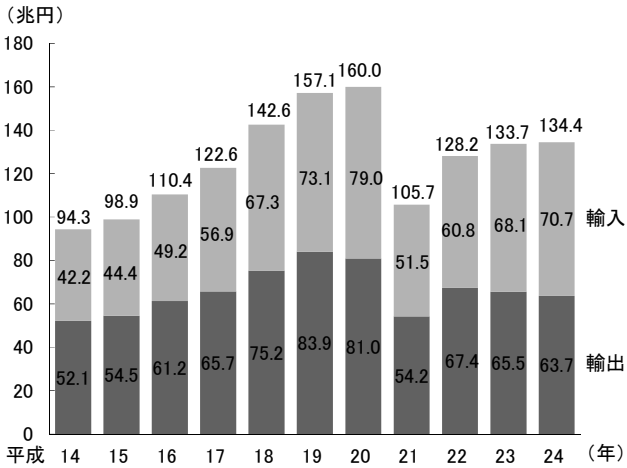
資料) 福岡県調査統計課「福岡県鉱工業指数」

3. 貿易

貿易額は3年連続で増加

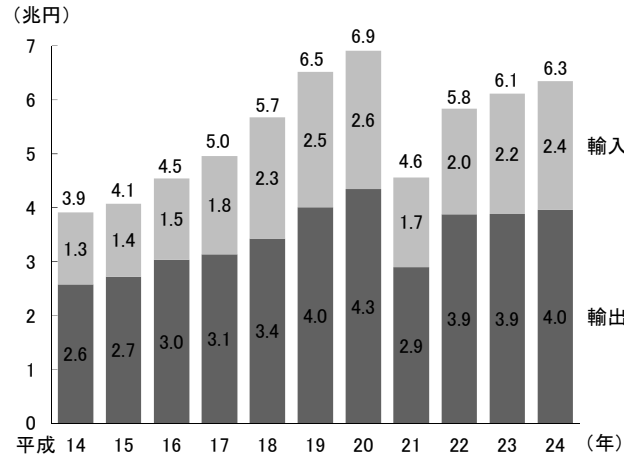
平成 24 年の福岡県の貿易額は、6.3 兆円（輸出額 4.0 兆円・輸入額 2.4 兆円）となった。輸出は横ばいであったものの輸入が増加し、3年連続で貿易額が増加した。

貿易額の推移（全国）



資料) 財務省「貿易統計」

貿易額の推移（福岡県）

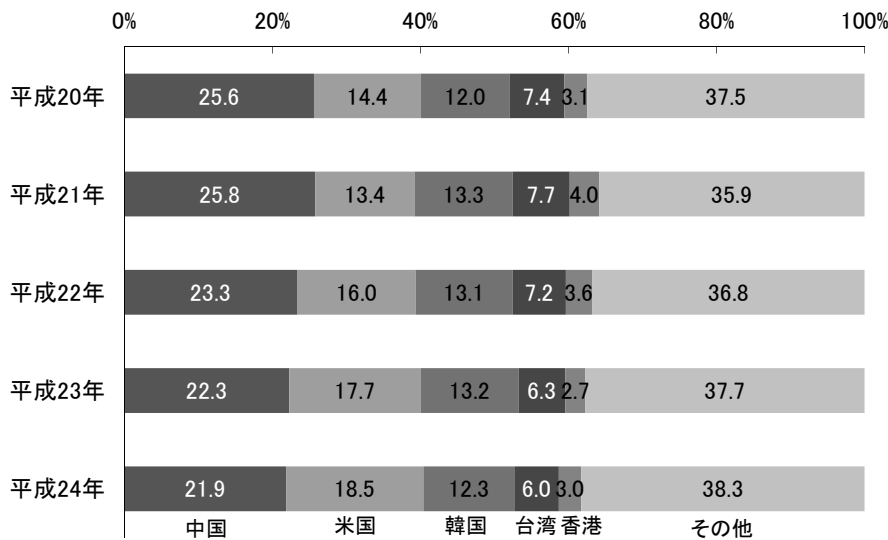


資料) 門司税関「九州経済圏各県別の貿易」

国別輸出比率は中国が減少し、米国の割合が増加

平成 24 年の福岡県の輸出額は、中国に次いで米国が多く、中国向けシェア（21.9%）が減少傾向のなか、米国向けシェア（18.5%）は増加傾向が続いている。

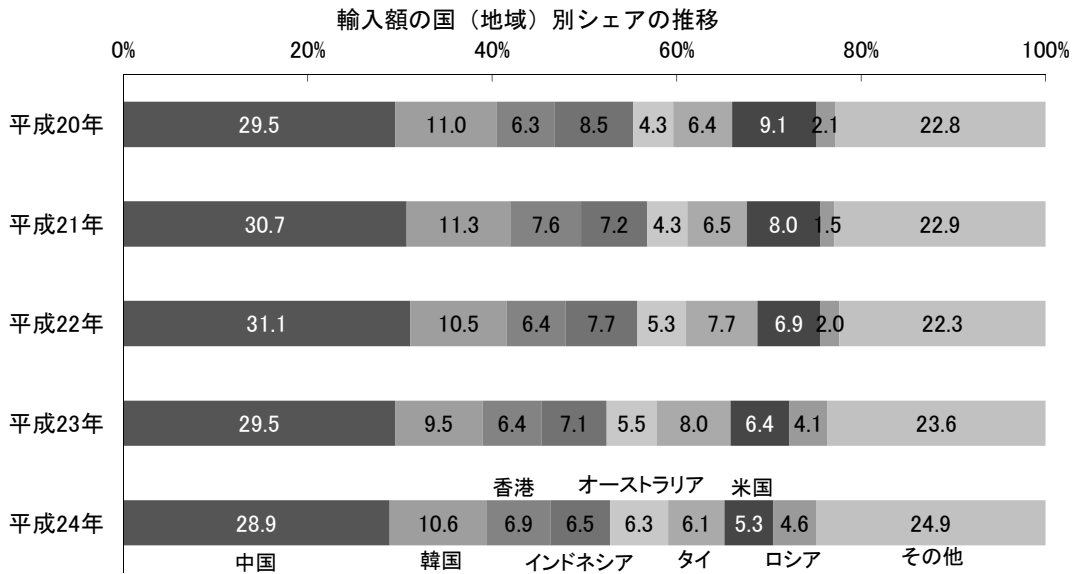
輸出額の国（地域）別シェアの推移



資料) 門司税関「九州経済圏各県別の貿易」

国別輸入比率は中国からの輸入が約3割

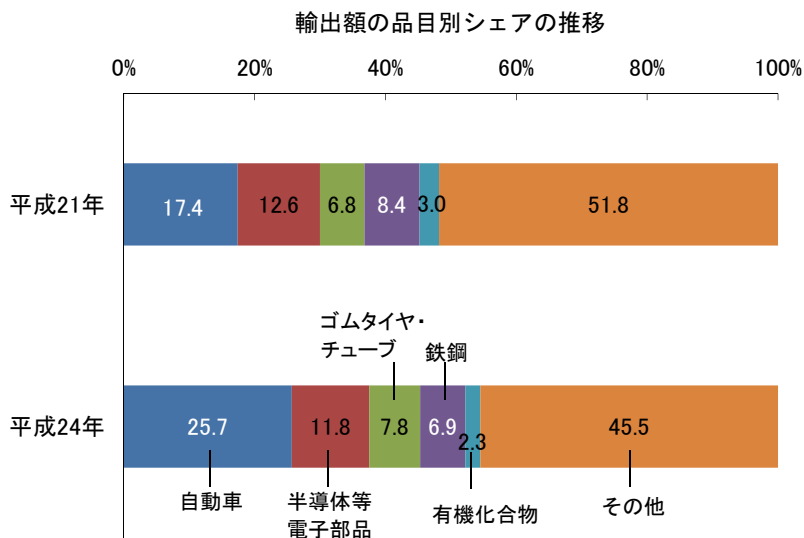
平成 24 年の福岡県の輸入額は、地域別にみると中国の輸入比率が 28.9%と最も高い。前年と比較すると、平成 23 年以降、LNGの輸入増加によりオーストラリアやロシアなどの比率が高まっている。



資料) 門司税関「九州経済圏各県別の貿易」

品目別輸出額は自動車の比率が上昇

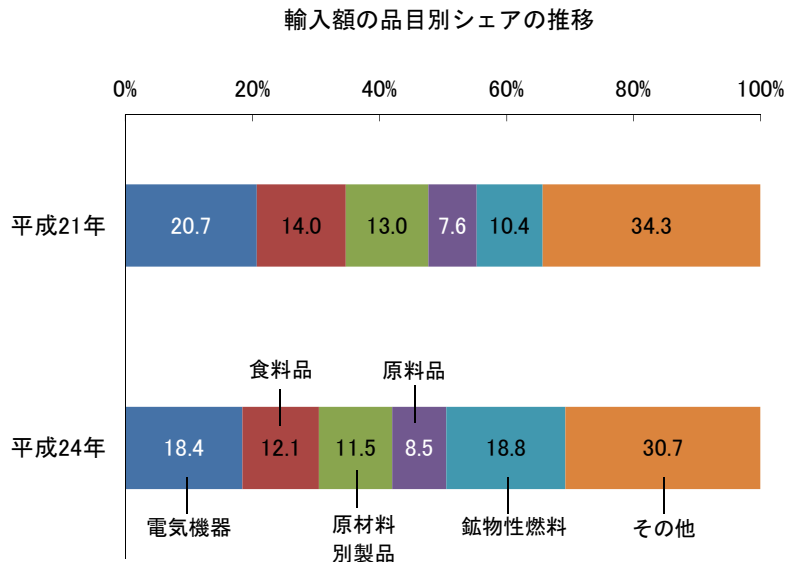
平成 24 年の福岡県の品目別輸出額は自動車が 25.7%と最も多く、続いて半導体等電子部品が多い。3 年前と比較すると、自動車やゴムタイヤ・チューブの比率が上昇したのに対し、半導体等電子部品や鉄鋼の比率は低下している。



資料) 門司税関「九州経済圏各県別の貿易」

品目別輸入額は鉱物性燃料の比率が上昇

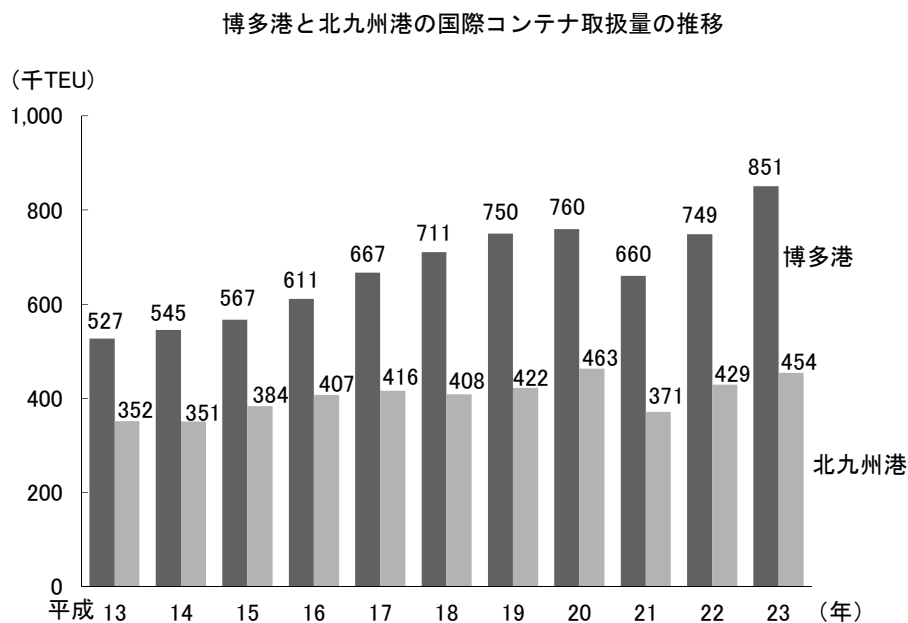
平成 24 年の福岡県の品目別輸入額は、LNG など発電用燃料の増加及び価格の高騰により、鉱物性燃料の比率が最も大きくなっている。



資料) 門司税関「九州経済圏各県別の貿易」

増加傾向にある博多港と北九州港のコンテナ取扱量

平成 23 年の博多港の国際コンテナ取扱量は、85.1 万 TEU (注)。北九州港は 45.4 万 TEU となり、世界同時不況により減少した平成 21 年以降は順調に取扱量を伸ばしている。



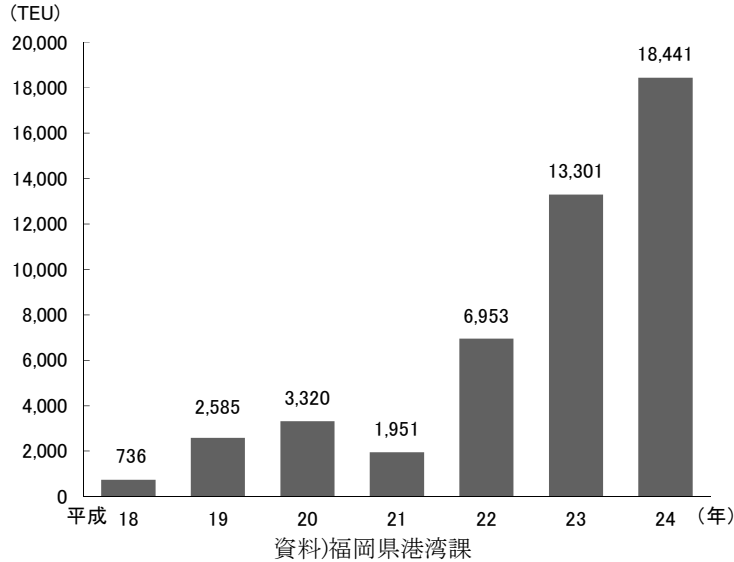
注) TEU は 20 フィートコンテナに換算した数

資料) 福岡市港湾局 北九州市港湾局

三池港のコンテナ取扱量は大幅に増加

平成 24 年の三池港の国際コンテナ取扱量は、1.8 万 TEU となり、前年比 38.6% 増と大幅に増加している。有明海沿岸道路の開通でアクセスが向上するなど、取扱量を伸ばしている。

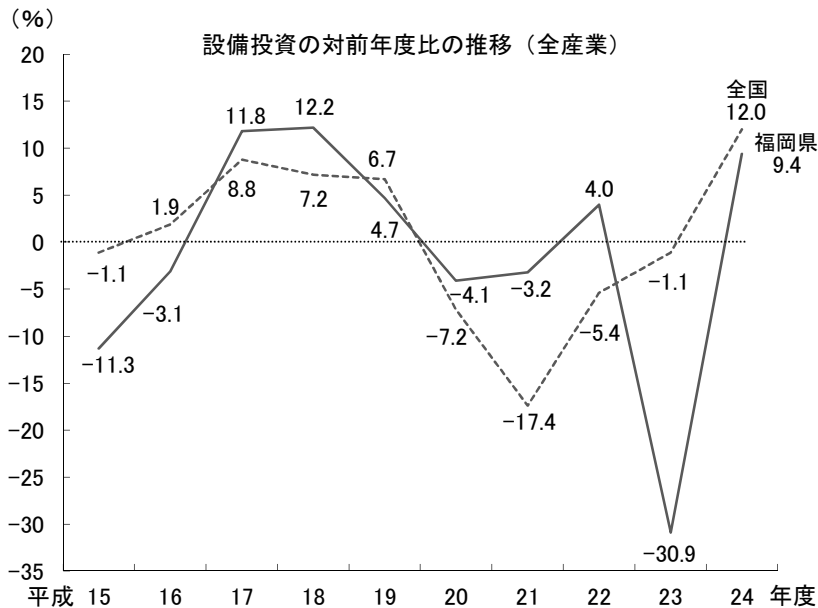
三池港の国際コンテナ取扱量の推移



4. 設備投資

平成 24 年度の設備投資(計画)は前年度比プラスに回復

平成 24 年度の福岡県の設備投資計画は、自動車メーカーや関連部品メーカーの生産設備増強工事や、ガス関連の LNG 受入基地建設などにより、前年度比 9.4% 増となった。

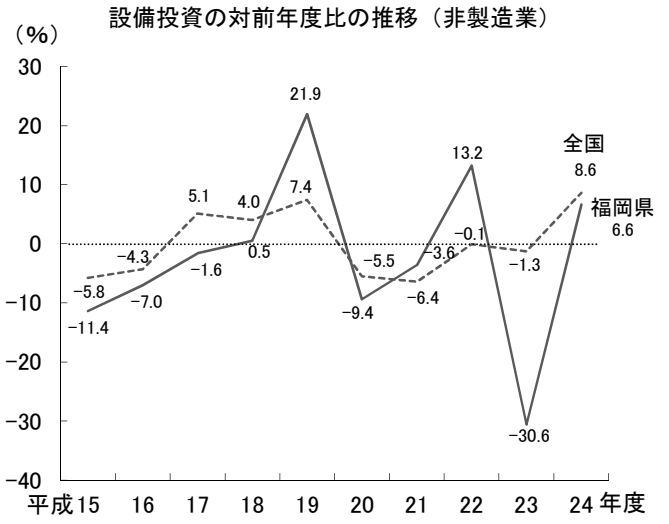
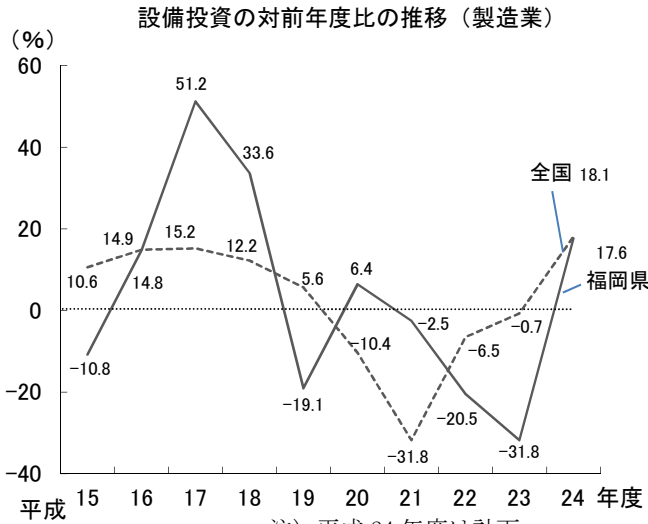


注) 平成 24 年度は計画

資料) 日本政策投資銀行「地域別設備投資計画調査」(平成 24 年 8 月)

製造業、非製造業ともプラスに転じる

平成 24 年度の福岡県の設備投資は、製造業においては、前年度比プラス 17.6%となり、4年ぶりにプラスとなった。また、非製造業も 6.6%増となり、製造業、非製造業ともプラスに転じた。



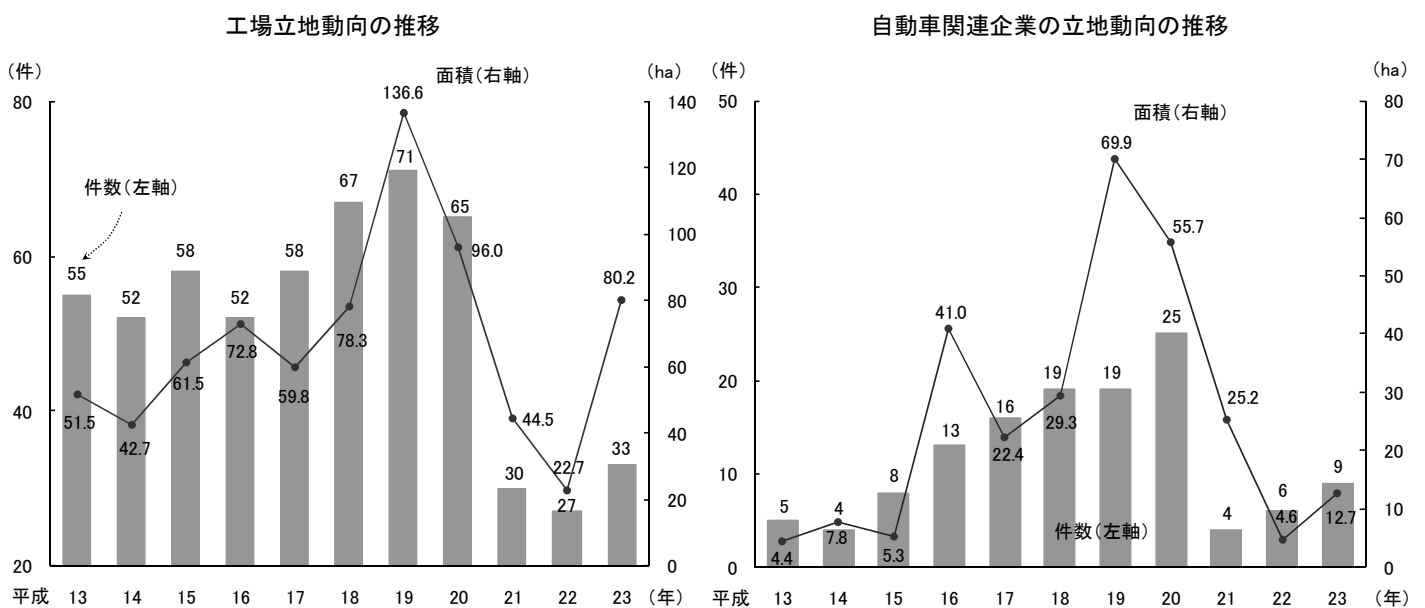
注) 平成 24 年度は計画

資料) 日本政策投資銀行「地域別設備投資計画調査」(平成 24 年 8 月)

5. 工場立地

工場立地件数は回復傾向

平成 23 年の福岡県の工場立地件数は 33 件、面積は 80.2ha となっており、件数、面積とも前年より増加した。



注) 1. 工場を建設する目的で 1,000 m²以上取得した企業

2. 対象業種は製造業、電気業、ガス業、熱供給業

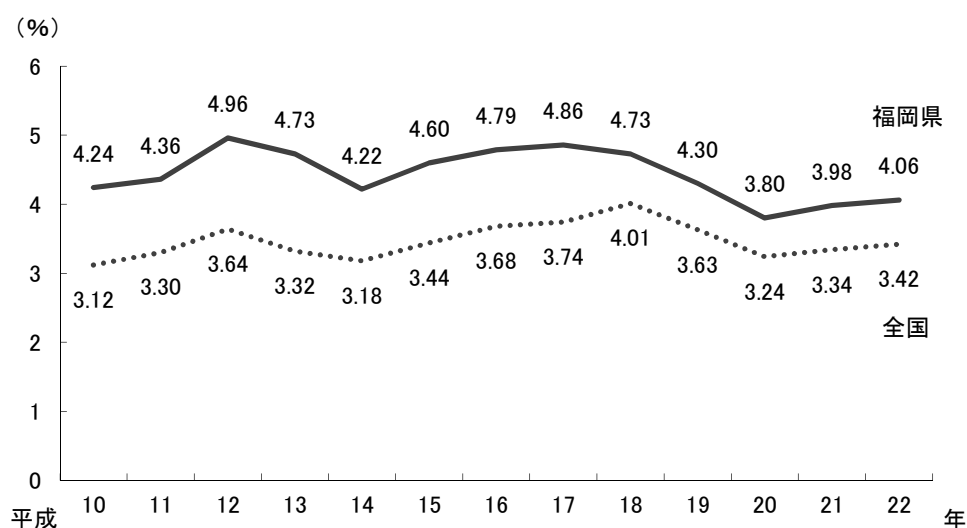
資料) 経済産業省「工場立地動向調査」、福岡県企業立地課

6. 創業率、廃業率

福岡県の創業率は全国を上回る

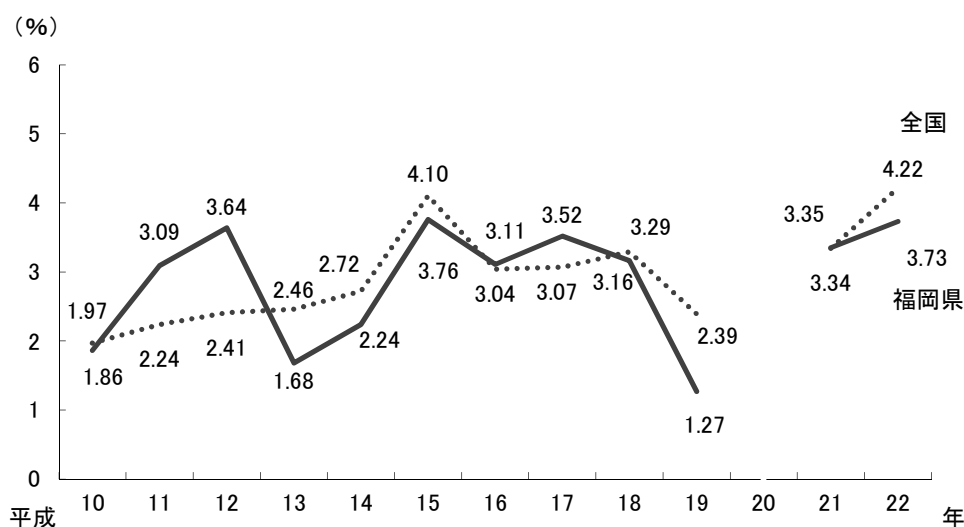
平成 22 年の福岡県の創業率は 4.06%と全国（3.42%）よりも高い。また、廃業率については全国が 4.22%であるのに対し、福岡県は 3.73%にとどまっている。

福岡県の創業率



資料) 国税庁「国税庁統計年報書」、法務省「登記統計年報」より福岡県作成

福岡県の廃業率



注) 平成 19 年の廃業率及び 20 年の創業率は前年会社数として用いている平成 19 年の国税庁統計年報の申告法人数の集計期間が変更されたため、累年比較はできない。また同様の理由により、平成 20 年の廃業率は公表されていない。

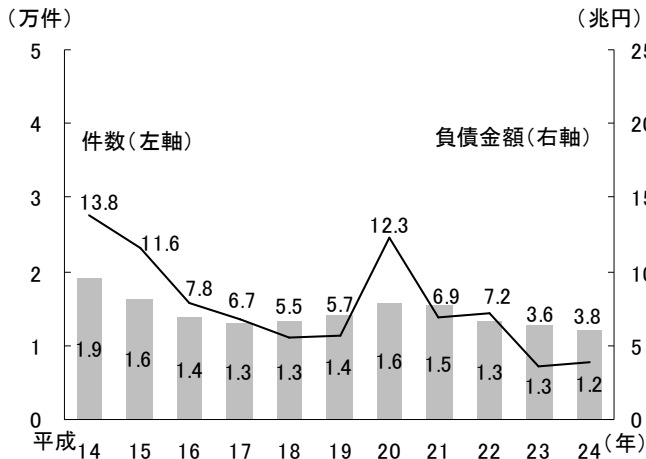
資料) 国税庁「国税庁統計年報書」、法務省「登記統計年報」より福岡県作成

7. 企業倒産

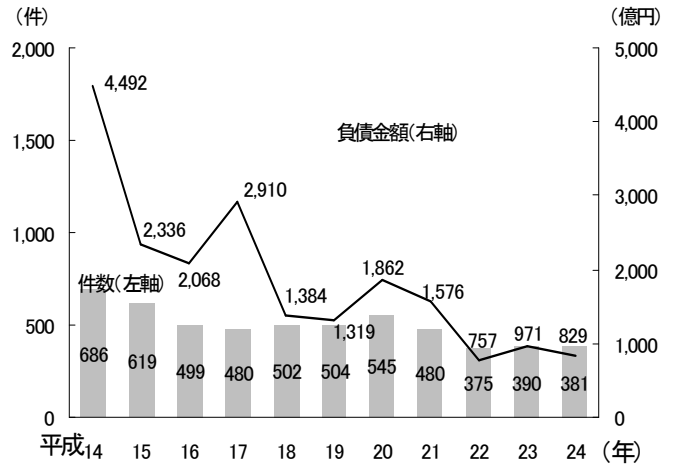
企業倒産は件数、負債総額とも減少

平成24年の福岡県の企業倒産は、件数381件、負債金額829億円となり、件数、負債額とも前年から減少した。

企業倒産の推移（全国）



企業倒産の推移（福岡県）



資料) 東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」

8. 外資系企業の進出

福岡県への海外企業の進出は九州の7割を占める

福岡県への外資系企業の進出は322件となっており、九州7県の7割以上を占めている。形態別にみると、8割以上が支店・営業所となっている。

九州7県の形態別外資系企業の進出状況（2011年9月時点）

		福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	九州7県
件数	本社	29	1	3	2	0	1	2	38
	支店・営業所	270	2	11	33	14	9	25	364
	工場	15	2	2	5	3	4	5	36
	その他	18	3	3	3	0	6	1	34
	計	322	8	19	40	17	19	30	455
構成比	本社	9.0	12.5	15.8	5.0	0.0	5.3	6.7	8.4
	支店・営業所	83.9	25.0	57.9	82.5	82.4	47.4	83.3	80.0
	工場	4.7	25.0	10.5	12.5	17.6	21.1	16.7	7.9
	その他	5.6	37.5	15.8	7.5	0.0	31.6	3.3	7.5

注) 1. その他は物流センターや研修所など

2. 進出形態が複数ある場合もあり重複カウントしているため、構成比合計は100%にならない場合もある

資料) 九州経済調査協会「九州・山口の外資系企業2011」

9. 海外進出

平成 24 年は中国への進出が減少

福岡県の地場企業における平成 24 年の海外進出件数は、28 件となった。中国への進出は減少したものの 9 件ともっとも多く、次いで韓国、タイ、インドネシア、ベトナムへの進出がそれぞれ 2 件ずつとなった。

福岡県の地場企業における海外進出状況

進出先	平成 14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
中国	13	24	15	28	23	18	11	13	30	18	9
韓国	1		4	1	1			1	1	3	2
台湾		2	1	2	3		1	3	2	1	1
香港	2	1	2	1	3		1	2	1	1	
シンガポール							2	4	2	2	
タイ	4	1	4	1	4	3	2	2	1	3	2
マレーシア		1	2	1			2		1		1
インドネシア			3	2			1			1	2
フィリピン				1	1		2	1		1	
ベトナム	1		2	1	1		5	5	2		2
ミャンマー											1
インド	1		1			2	1	1	8	4	
バングラデシュ									1		1
アラブ首長国連邦		1		1							
サウジアラビア							1				
イギリス			2		2	2					
ドイツ			2	1		1	1				1
オーストリア									1		
オランダ			1					2	1		
オーストラリア	1									1	
ベルギー											1
スイス							1				
チェコ共和国			1					1			1
ポーランド						1					
フィンランド	1										
アメリカ	3	2	4	2	3	2	4		5	6	1
カナダ	1										1
メキシコ					1			1			1
ブラジル										1	
エジプト									1		
南アフリカ											1
合計	28	32	44	42	42	29	35	36	57	42	28

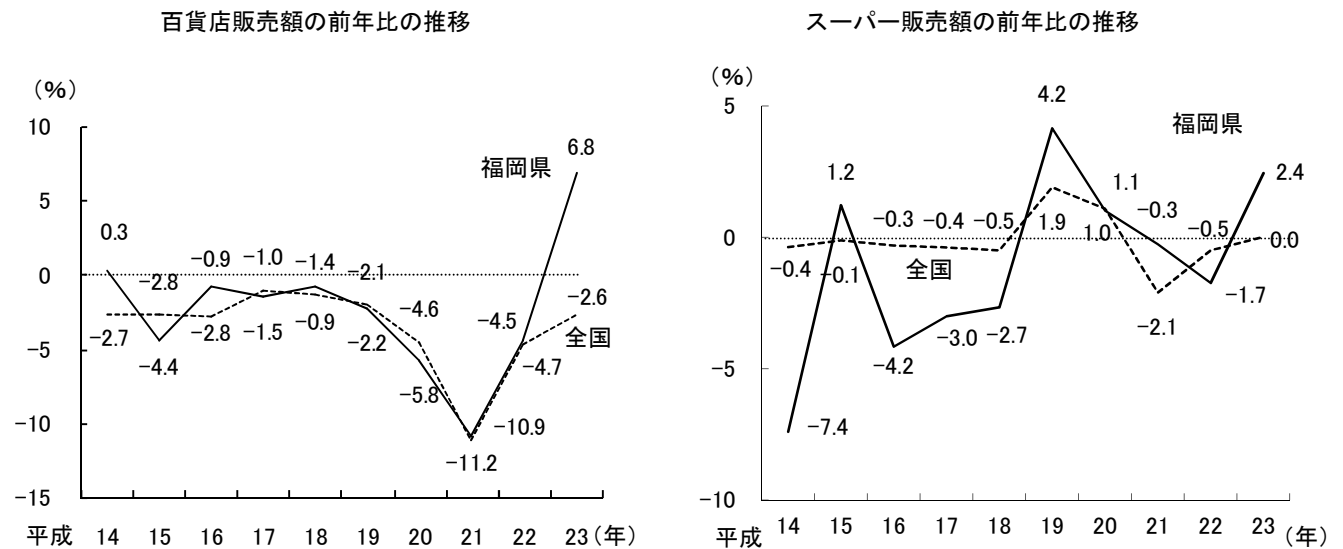
資料) 九州経済調査協会「データ九州 九州・山口地場企業の海外進出 2012」

〈家計部門〉

10. 個人消費

百貨店、スーパー販売額は前年比大幅プラス

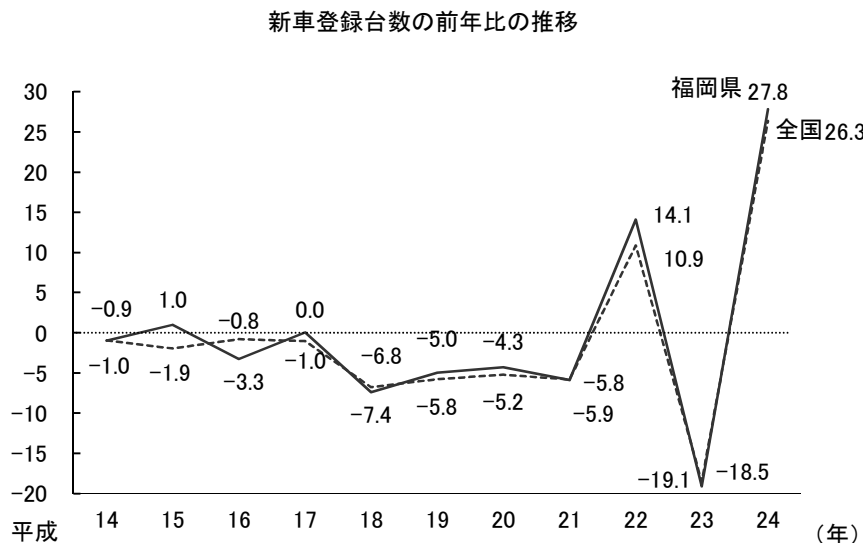
平成 23 年の福岡県の百貨店販売額は駅ビル開業に伴う新規出店により、前年比プラス 6.8% となった。スーパー販売額は前年比プラス 2.4% と全国を上回った。



資料) 経済産業省「商業販売統計」

新車登録台数は大幅に増加

平成 24 年の福岡県の新車登録台数は、エコカー補助金の復活などにより前年比 27.8% 増と大幅なプラスとなった。



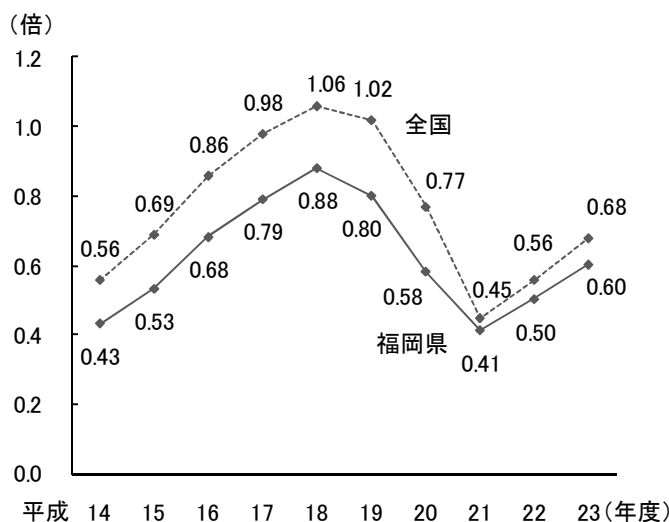
資料) 福岡県自動車販売店協会調べ

11. 雇用

雇用情勢は回復傾向

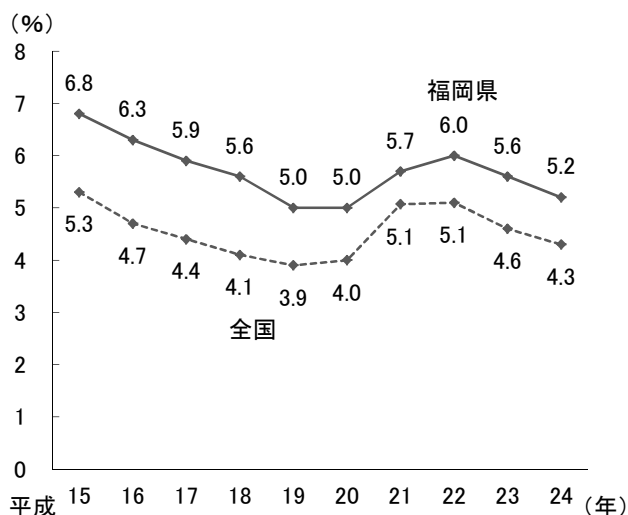
平成 23 年度の福岡県の有効求人倍率は 0.60 倍、また平成 24 年の福岡県の失業率は 5.2%といずれも回復傾向となっている。

有効求人倍率の推移



資料) 福岡労働局「職業安定業務年報」

失業率の推移



資料) 総務省「労働力調査」

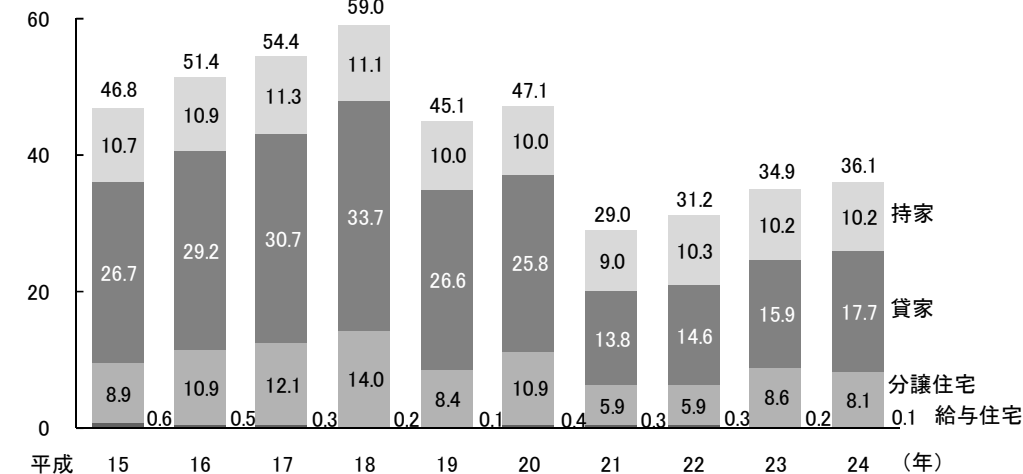
〈その他関係指標〉

12. 住宅建設

住宅着工戸数は3年連続で増加

平成 24 年の福岡県の住宅着工戸数は約 3 万 6 千戸となり、3 年連続の増加となった。

住宅着工戸数の推移



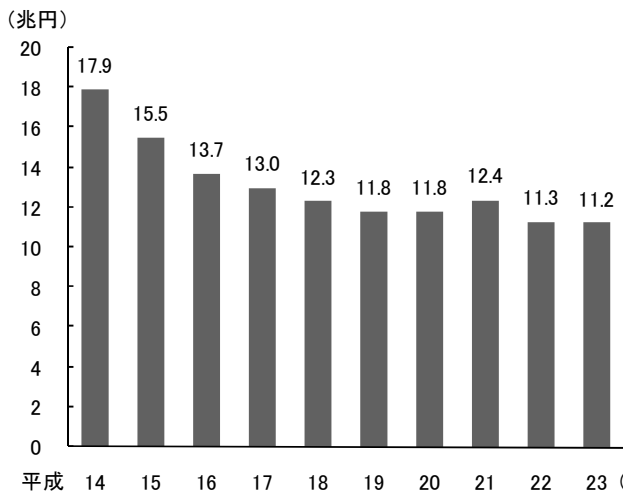
資料) 国土交通省「建築着工統計調査」

13. 公共投資

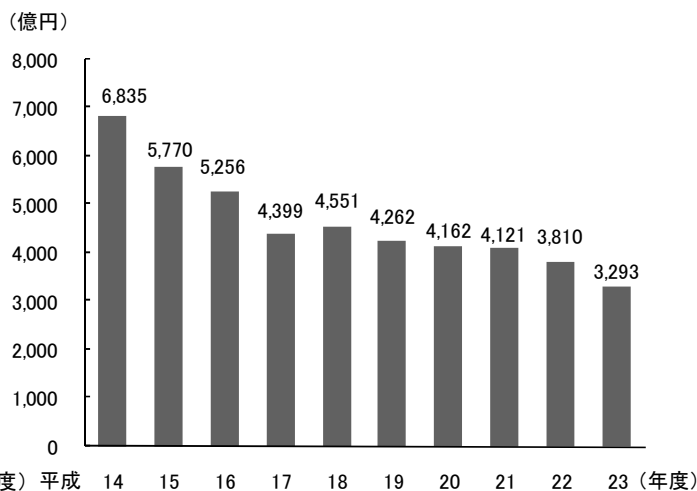
公共工事は減少傾向が続く

平成 23 年度の福岡県の公共工事請負金額は 3,293 億円となり、5 年連続の減少となった。

公共工事請負金額の推移（全国）



公共工事請負金額の推移（福岡県）



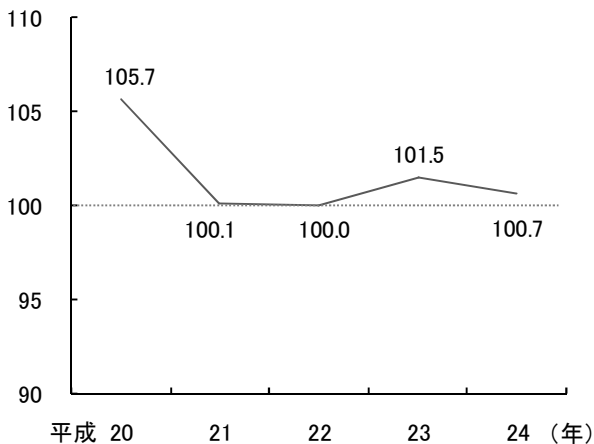
資料) 西日本建設業保証調べ

14. 物価

企業物価は低下、消費者物価も低下傾向が続く

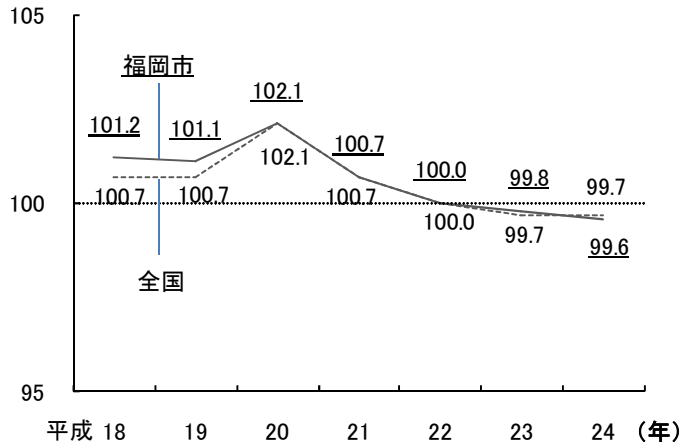
全国の企業物価指数は、平成 24 年は 100.7 と 2 年ぶりに低下した。消費者物価指数は、平成 24 年は全国で 99.7 と横ばい、福岡市は 99.6 と前年より低下した。

国内企業物価指数の推移



注) 平成 22 年を 100 とする
資料) 日本銀行「企業物価指数」

消費者物価指数の推移



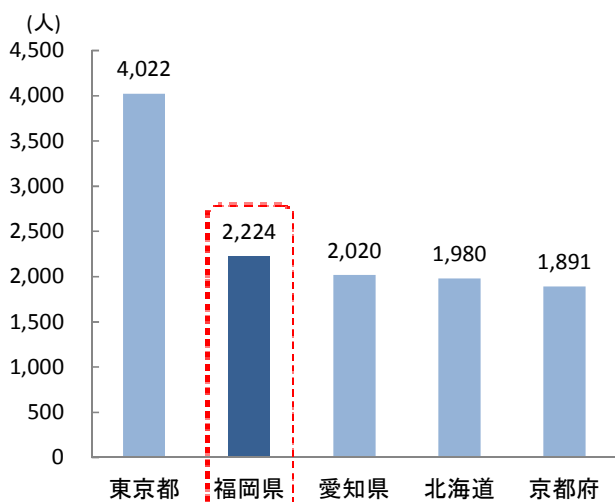
注) 平成 22 年を 100 とする
資料) 総務省「消費者物価指数」

15. 研究機関・教育

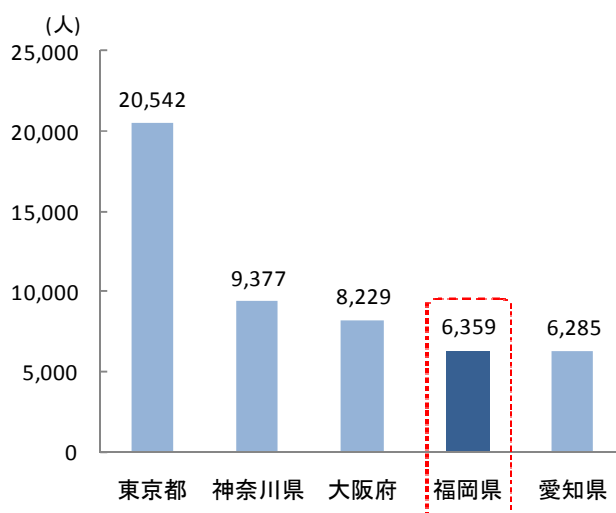
理工系学部(国立)の入学定員数は全国2位

福岡県内の国立大学における理工系学部の入学定員数は、2,224人と全国で2番目に多い。また、私大を含む理工系学部の入学定員数は、6,359人となっている。

平成24年度の国立大学(理工系)入学定員数



平成24年度の全大学(理工系)入学定員数



資料) 全国学校データ研究所「全国学校総覧(2012年版)」より福岡県集計

人口千人当たりの大学生数は全国平均を上回る

平成24年度の福岡県の大学数は34、学生数は121,756人で、人口千人当たり学生数は24.1人と全国平均(22.7人)を上回っている。

大学数、学生数(平成24年度)

(単位:大学、人)

	学校数	学生数	人口千人当り
			学生数
全国	783	2,876,134	22.7
九州8県	81	243,908	16.7
福岡県	34	121,756	24.1
佐賀県	2	8,846	10.4
長崎県	10	19,236	13.4
熊本県	9	28,932	15.9
大分県	5	15,992	13.4
宮崎県	7	11,123	9.7
鹿児島県	6	18,129	10.6
沖縄県	8	19,894	14.0

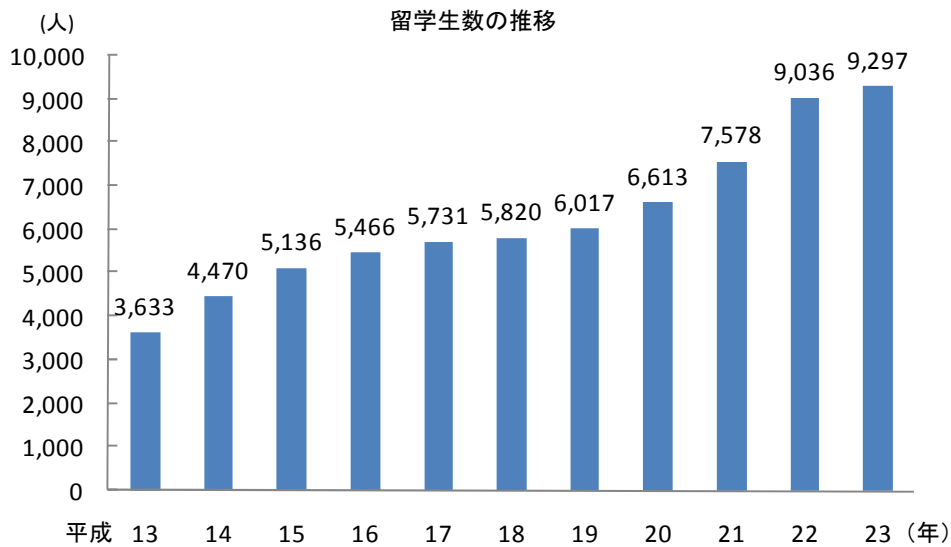
注) 学校数は大学本部所在地による

学生数は大学院等を含む

資料) 文部科学省「学校基本調査報告書」、国土地理協会「住民基本台帳人口要覧」

留学生数は10年間で2.5倍以上に増加

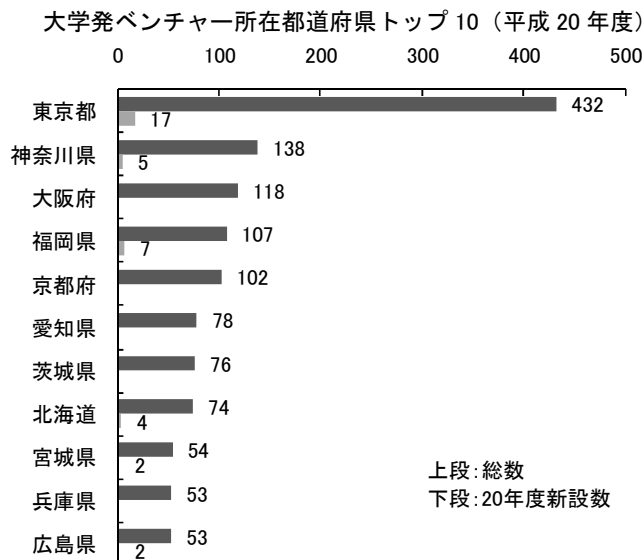
福岡県の留学生数は平成23年に9,297人となり、全国で3番目に多い。平成13年と比較すると2.5倍以上に増えている。



資料) 福岡県「福岡県の国際化の現状 [データブック]」

本県の大学発ベンチャー数は全国第4位

平成20年度の大学発ベンチャー数は総数107（うち新設7）と全国第4位に位置している。



注) 大学本部の所在する都道府県別の集計

資料) 価値総合研究所「平成20年度大学発ベンチャーに関する基礎調査報告書」